

《情報化施工》を推進しています

中国支部では事業計画でも予定していますように今年度も「情報化施工技術の普及・促進」に向け、各地において情報化施工講習会（セミナー）、研修会を随時開催し好評を得ています。

今回は、去る8月30日（火）・31日（水）の両日広島市西区商工センターで開催しました「情報化施工（体験セミナー）講習会」、また、9月30日（金）には岡山・玉島笠岡道路の改良工事現場において開催しました「情報化施工技術現場研修会」について、さらに、10月25日（火）に米子市において開催した「情報化施工（体験セミナー）講習会」について、その概要ならびに実施結果を報告します。

講習（研修）は、実習（重機に乗車あるいは測量器を実測する、またはPCへの3Dデータ入力などの体験型）を重視した方法で行い、実際に体験することでより効率的に「技術」の理解度を深めてもらう事としています。

情報化施工（体験セミナー）講習会（広島）

○日 時：平成23年8月30日（火） 13：30～17：30
31日（水） 9：30～17：30

○場 所：（座 学）（財）広島市産業振興センター
：（実 習）西部開発多目的広場

（内 容）

講 演 情報化施工に関する最近の動向

座 学 情報化施工対応システムの詳細、施工までの流れと得られる効果について

実 習 （班編成により、参加者全員が全ての機械・器具の実機体験を体験）

- ・ 3D-MC ドーザーシステム体験
- ・ TSGPS 転圧管理システム体験
- ・ 土木用GPS システム実測体験
- ・ TSを用いた出来形管理システム実測体験
- ・ TS 出来形管理の実務（内業）



情報化施工技術現場研修会（岡山）

- 日時：平成23年9月30日（金） 13：30～16：00
○場所：玉島笠岡道路 佐方地区第2改良工事（施工者：松尾建設株）
（内容）
講演 情報化施工に関する最近の状況
座学 TSを用いた出来形管理技術の概要と内業
実習 TSを用いた出来形管理技術の外業（実務）
マシンガイダンス技術のデモンストレーション
質疑応答



情報化施工（体験セミナー）講習会（米子）

- 日時：平成23年10月25日（火） 9：30～17：00
○場所：（座学）シャトーおだか 会議室
：（実習）西尾レントオール株米子営業所構内
（内容）
講演 情報化施工の推進
座学 情報化施工対応システムの詳細、施工までの流れとその効果について
実習 TS-GPS転圧管理システム体験
TSを用いた出来形管理システム実測体験
TS出来形管理の実務（3次元データを用いたPC入力・帳票出力等）



第62回 新技術活用現場研修会の開催報告

(社)日本建設機械化協会中国支部では、協会会員の知識の向上、技術の研鑽を図るため、現場研修会を毎年実施しており、今年度は、国土交通省広島国道事務所で事業が進められている「東広島・呉自動車道」と、広島県西部建設事務所により事業が進められている「警固屋音戸バイパス」の一部である「第2音戸大橋（仮称）」にて実施しました。当日は天候もよく、国土交通省広島国道事務所、広島県西部建設事務所ならびに施工者の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

○日時：平成23年9月28日（水） 9：00～17：00

○参加者：17名

○研修現場

1) 東広島・呉自動車道（事業者：国土交通省広島国道事務所）

東広島・呉自動車道は、東広島市と呉市を結ぶ32.8kmの自動車専用道路で、このうち、東広島市高屋の山陽自動車道ジャンクションから馬木インターチェンジ間11.7kmが既に暫定2車線で開通しています。現在、残る区間の工事が進められており、今年度末には黒瀬インターチェンジ（仮称）から終点の阿賀インターチェンジ（仮称）までの12.3kmが暫定2車線で開通予定となっています。

このたびの研修現場は、郷原から阿賀間で行われている次の工事です。この間は、地形が非常に急峻で各現場ともとても苦勞をされていました。

1) 阿賀地区法面工事(施工者:ライト工業株) 2) 二級峡第四橋P C上部工事(施工者:株間組)

アンカー工、法枠工、植生工、掘削工、
排水構造物工、他

P C 2 径間連続T ラーメン箱桁橋 161m
架設工法:張出し架設(場所打ち片持ち架設)

3) 郷原高架橋床版工事(施工者:大之木建設株)

床版工、橋梁付属物工、他



阿賀地区法面工事



二級峡第四橋P C 上部工事



郷原高架橋床版工事

2) 第2音戸大橋（事業者：広島県西部建設事務所）（施工者：IHI・川田・横河共同企業体）

警固屋音戸バイパスの一部として事業が進められている第2音戸大橋は、橋長492mのアーチ橋で、アーチ支間長280mは完成すると国内4番目の規模となります。現在は、中央径間部の大ブロック（鋼重3,500t）が国内最大級の大型クレーン船により一括架設（4月24日）され、床板工事等が進められています。完成は平成25年春。アーチ部の架設では、難工事にもかかわらず誤差なく施工されるなど、非常に高い技術レベルには驚かされました。



第2音戸大橋工事

○研修参加者のコメント

- ・各現場で工事の詳しい説明を受け参考になった。有意義な研修会でした。
- ・新技術についてももう少し説明があれば良いと思った。

○平成23年度 建設機械施工技術検定（実地）試験の実施

今年度も例年にも増した猛暑に見舞われた中の8月27日～29日、広島市西区の商工センターにおいて建設機械施工技術検定（実地）試験を行いました。とはいえ、お盆明けからのぐずついた天候により会場準備の段階ではぬかるみのある状態でしたが、試験日になると猛暑の到来で受験生や試験官は暑さとの格闘の3日間でした。試験の実施状況は次の通りです。



単位（人）

	実人員	1 級	2 級	合 計
受験予定者	218	46	217	263
欠 席 者	2	0	2	2
受 験 者	216	46	215	261

※各級及び合計欄は種別毎の延べ人数

○「中国地方建設技術開発交流会」が開催されました。

今年度の「中国地方建設技術開発交流会」が10月20日（木）の鳥取会場を皮切りに開始されました。今年度は「東日本大震災」の教訓を受けた特別発表の枠が設けられるなど例年とは趣が違ったものとなっています。当中国支部からは次の会員2社が発表されましたので報告します。

（広島会場：10月28日（金））

（株）竹中土木広島支店：地盤改良複合杭基礎工法

（島根会場：11月2日（水））

（株）IHI インフラシステム：ドルフィンゲート（ライジングセクタゲート）の開発・事例紹介

○「建設技術フォーラム2011in広島」に参加しました。

【エコ・イノベーションメッセ2011inひろしま】と共催での開催となる今年度の『建設技術フォーラム2011in広島』が11月25日（金）・26日（土）の両日、広島市南区の広島産業会館（西展示場）において開催されました。

当中国支部からは次の会員5社が技術革新、産業振興に向けた新しい技術を展示参加しましたので紹介します。

なお、開催結果についての詳しい内容等は「中国地方整備局ホームページ」でご確認下さい。

・伊藤忠建機（株）：P F P 高圧脱水工法

（浚渫土の大幅減容化技術）

・新光産業（株）・（株）エムビーエス：スケルトン防災コーティング

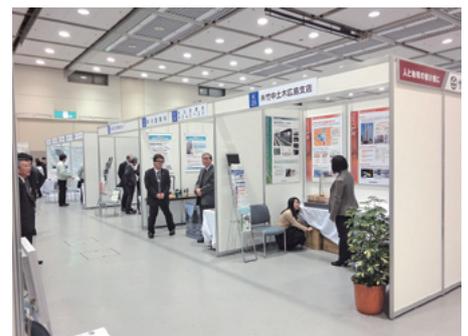
・新光産業（株）：「高効率酸素供給装置」

「アルカリ排水中和装置」

・（株）大和エンジニアリング：逆流防止弁

（ヒュームフラップシリーズ）

・（株）竹中土木広島支店：竹中土木の液状化対策技術及び
環境技術



H23建設技術フォーラム

新入会員紹介

情報化施工の活用で総合評価の評価点も工事成績もアップ!

デキスパート
 簡単路線計算
 3次元設計データ作成&3Dビュー
 出来形管理図自動作成

×

LanDeco
 現場イノベーション端末
 リアルタイムソリューション機能搭載!
 時代は筐体管理から3次元測点管理へ!
 01 3次元設計データ(平面・縦断・横断形状)対応、3次元座標の入出力
 02 3次元測設機能、3次元観測機能
 測量計算機能等、豊富な施工管理機能を搭載
 03 接続するトータルステーションは各種メーカーに対応

NETIS登録技術 CB-10052-A

どこでも出来形 どこでも丁張り

3次元設計データ作成

現場測量・観測

出来形作成・電子納品

施工管理システム「デキスパート」と「LanDeco」で情報化施工「TS出来形」をトータル管理!

No.1 全国導入実績 27,000社

時をきずき、未来をひらく。



■本社営業部 静岡県富士市石坂 312-1
 TEL 0545-23-2600 FAX 0545-23-2610
 ■広島営業所 広島市東区光町 1-13-20 ディア光町 2F
 TEL 082-568-2778 FAX 082-568-7229

新入会員紹介

— 限りある資源との調和 —

株式会社 大広エンジニアリング

総合エンジニアリングで都市計画を創造していきます
 建設コンサルタント/上下水道調査設計



下水道処理場の設計



管路診断

本社/広島市西区南観音7丁目13番14号

代表取締役 正木 普

TEL 082-291-1313 FAX 082-231-1690 HP <http://www.daiko-eng.co.jp>

支社/山口市

営業所/呉市・東広島市・三次市・柳井市・周南市・下関市・江田島市

津和野町・伊勢原市

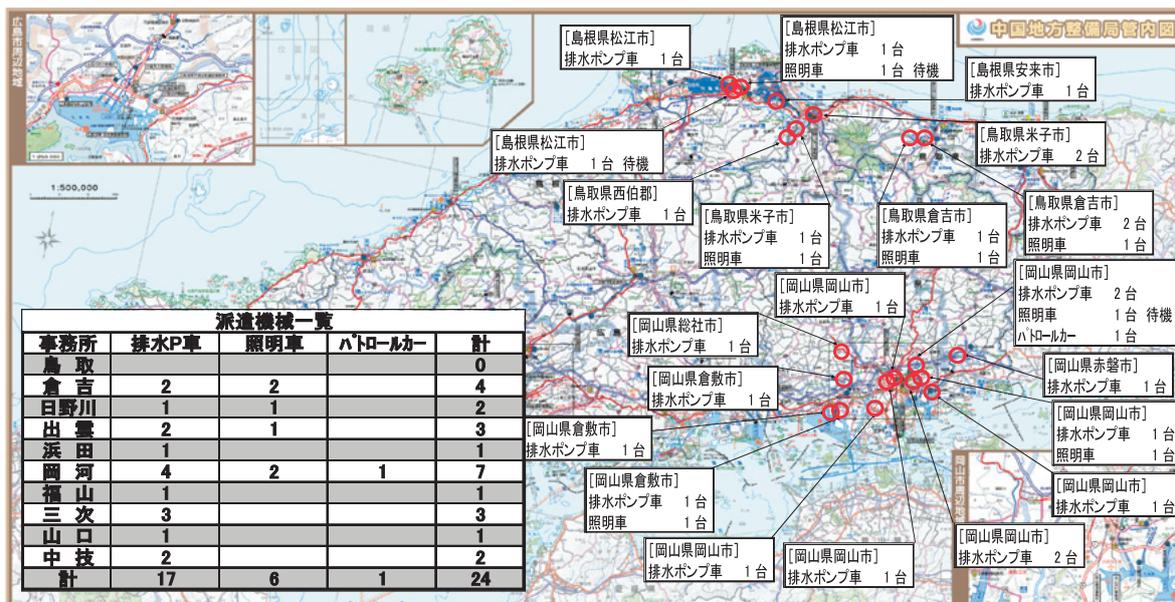


国土交通省コーナー

「台風12号」における中国地整管内での災害対策用機械の活動状況

「台風12号」による風水害対応において災害対策用機械(24台)を中国地方整備局管内6水系に出動するとともに、松江市、岡山市及び総社市からの要請に伴い排水ポンプ車を各地方公共団体に派遣した。また災害対策用機械の運搬・操作等については、協定業者の協力を得ております。

【災害対策用機械の主な稼働場所】



「台風12号」における中国地整管内での災害対策用機械の活動状況

◆ 排水作業 9月2日～

排水ポンプ車 17台、照明車 6台



国府川(鳥取県倉吉市)



国府川(鳥取県倉吉市)



国府川(鳥取県倉吉市)



日野川(鳥取県米子市)



大橋川河口付近(鳥根県松江市)



末次排水機場(鳥根県松江市)



胡麻田地下道(岡山県岡山市)



吉井川(岡山県岡山市)



高粱川(岡山県総社市)



高粱川(岡山県倉敷市)



国土交通省コーナー

「台風12号」における近畿地整での災害対策用機械の支援状況

中国地方整備局では、「台風12号」による近畿地方の災害対応のため、近畿地方へ災害対策車(19台)TEC-FORCE(56名【H23.9.21現在】)の派遣を行っています。また、災害対策用機械の運搬・操作等については、協定業者の協力を得ております。

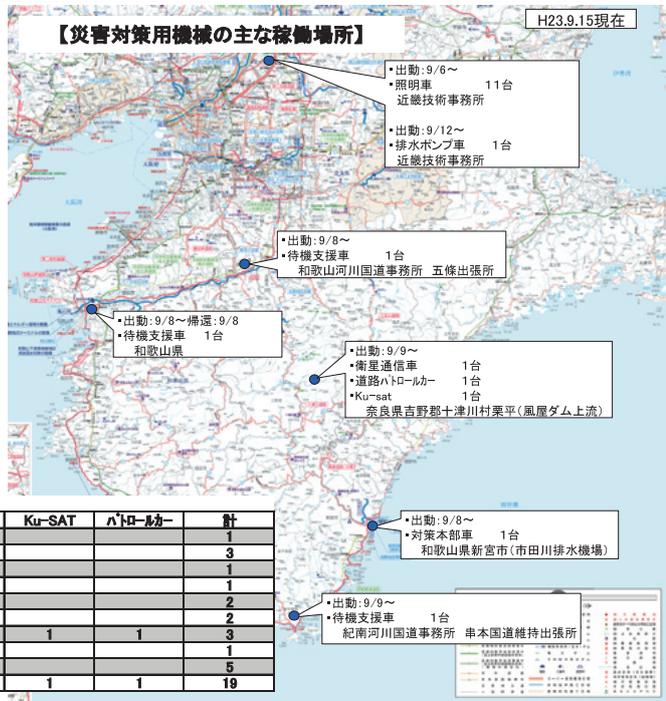
【主な派遣機械:照明車(参考資料)】



派遣機械一覧

事務所	排水P車	照明車	対策本部車	待機支援車	衛星通信車	Ku-SAT	ハドールカー	計
鳥取		1						1
倉吉		2		1				3
松江		1						1
出雲		1						1
浜田	1	1						2
岡部		1		1				2
山口		1			1	1	1	3
中核		3	1	1				5
計	1	11	1	3	1	1	1	19

【災害対策用機械の主な稼働場所】



「台風12号」における近畿地整での災害対策用機械の支援状況

◆ 待機支援車 中国地方整備局(出発)



◆ 通信の確保 9月9日~ 衛星通信車 1台 Ku-sat 1台



十津川村(栗平地区)における衛星通信車稼働状況

◆ 支援 9月9日~ 災対本部車1台、待機支援車3台



対策本部車設営状況



災対本部車内の作業状況

◆ 近畿地整へ 9月12日~ 排水ポンプ車1台派遣



熊野地区河道閉塞箇所における排水作業状況(H23.9.27~) 近畿地整記者発表資料より

お知らせコーナー

今後の行事予定

日時	区分	行事名	内容	備考
平成23年 12月9日(金)	懇談会	懇談会(意見交換会) 会場:八丁堀シャンテ	中国地方整備局と(社)日本建設機械化協会中国支部との懇談会	委員
平成24年 2月中旬	講習会	建設技術講習会 会場:広島市内を予定 参加者:100名程度を予定	議題等:調整中	会員及び一般
平成24年 5月中旬	総会	第61回支部通常総会 会場:未定	・平成23年度事業報告(案)及び同会計報告(案) ・平成24年度事業計画(案)及び同収支予算(案)	会員
		平成24年度 建設の機械化施工優良技術員表彰	平成24年度優良技術者表彰 (運転・整備部門、管理部門、技術開発部門)	
		第61回支部通常総会「記念講演会」	演題:未定 講師:未定	

◆支部広報誌(CMnavi) 60周年記念特集号を発刊予定です

(社)日本建設機械化協会中国支部は昭和27年8月29日に設立以来、会員及び関係各位のご指導とご協力により、この度めでたく60周年を迎えるに至りました。

今回、この60周年を迎えた節目として「支部広報紙(CMnavi) 60周年記念特集号」を編集・発行することとし、現在、広報部会を中心とした『編集委員会』において鋭意作業中ですのでそのあらましを紹介します。

※50年誌(中国支部50年のあゆみ:平成14年6月)に続く内容として、主にそれ以降(10年)の話題・トピックスを掲載予定。

①歴代支部長の言葉

②社会情勢の変遷

- ・全国及び中国地方における協会をとりまく出来事、トピックス等を掲載

③中国支部事業活動の変遷

- ・10年間の支部事業活動の変遷について紹介し時代の変化と共に変容した経緯及びその内容を紹介

④中国地方の建設事業の発展

- ・主要な建設事業を紹介

⑤その他(資料等)組織の変遷、会員状況、防災協定、優良技術員表彰等の経緯 etc



編集後記

胡子神社のえびす講も終わり、朝夕の冷え込みが厳しくなり温かい鍋が恋しい季節になりました。先日、秋祭りで「子供御輿」が町内をねり歩く為のお手伝いに行きました。各町内会の御輿が各町内を練り歩いた後に氏神の祀られた神社に奉納されます。

広島のお祭りには、町内会毎に御幣のついた綱が各家の周りに張り巡らされているのでこの地域はお祭りなのだと言うことが判ります。近年、近所つきあいが希薄となっていると言われていますが、最近の東日本大震災を始めとする災害を見聞きし、また広島県北部を震源とする地震を身近に感じ、近所、地域での助け合いの重要性を一層強く感じます。

地域のお祭りなどの行事に参加するといったことを通して地域の連帯感を強めていきたいものです。

平成23年11月発行

編集・発行 (社)日本建設機械化協会中国支部機関誌編集委員会

〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 築地ビル402

TEL 082-221-6841

FAX 082-221-6831

<http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/>

E-mail jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp